

第7次埼玉県地域保健医療計画 西部保健医療圏 圏域別取組 進捗状況(実績)調書(1)

資料6

圏域別取組	生活習慣病予防から始める健康づくり
目標	生活習慣病の予防と早期発見のため、健診受診率の向上、保健指導の充実、健康づくりへの環境整備、普及啓発、各関係団体や市民との協働を推進します。
主な取組	①特定健診・各種がん検診等受診率の向上と特定保健指導の充実
	②特定健診・特定保健指導の体制整備の支援と実務者の育成
	③禁煙支援・受動喫煙防止対策の推進
	④糖尿病対策の推進
	⑤健康づくりに関する知識の普及
実施主体	市、保険者、保健所、医師会、薬剤師会、歯科医師会、地区組織

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	取組推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
①特定健診・各種がん検診等受診率の向上と特定保健指導の充実	人間地区医師会	○各種がん検診の精度管理向上のため、必要に応じ担当理事を中心に判定委員会を開催し調整会議を開催。 ○特定健診・各種がん検診等の受診率向上のため、会員医療機関において各種健診等の実施。 ○各種啓発、PRポスター等の医療機関への積極的な掲示。	○各種がん検診の精度管理向上のため、必要に応じ担当理事を中心に判定委員会を開催し調整会議を開催。 ○特定健診・各種がん検診等の受診率向上のため、会員医療機関において各種健診等の実施。 ○各種啓発、PRポスター等の医療機関への積極的な掲示。	
	飯能地区医師会	電話等で受診勧奨し、飯能市日高市ともに特定健診の受診率は上位である。	電話等で受診勧奨し、飯能市日高市ともに特定健診の受診率は上位である。	
	狭山市医師会	①、② 特定健診、がん検診については受診向上に努め、案内等充実を図る。	①、② 特定健診受診率の向上を図る。	
	狭山市医師会	①、② 特定健診受診率:39.5% 特定健診指導受診率:17.8%	①、② がん検診等受診者への勧奨	
	所沢市	<特定健診> ・特定健康診査等受診勧奨事業実施計画を策定し、受診券発送後の6月、特定健診受診期間の中間となる9月、期間終了間際の1月を強化月間と定め、多角的なアプローチによる受診勧奨事業を実施した。 (1)ハガキによる受診勧奨(10月、1月、2月) (2)未受診者への、ハガキ送付並びに送付直後の電話勧奨による受診勧奨(1月～2月) (3)各種メディアを通じた啓発活動事業(広報、かもめ～、各医療機関でのポスター等掲示、ラジオCM等) (4)各種イベント等における関係各課と連携した啓発活動事業(健康まつり、食育月間イベント等) (5)啓発バッチ装着 (6)30歳代健診(申し込み制)の実施による、若年層からの健診習慣の醸成 (7)特定健診受診券の見直し(特定健診の受診券・質問票・受診票を一体化) 【特定健診受診率実績】 平成28年度特定健診受診率:38.7% 平成29年度特定健診受診率:39.5% 平成30年度特定健診受診率:40.5%	<特定健診> ・特定健康診査等受診勧奨事業実施計画を策定し、受診券発送後の6月、特定健診受診期間の中間となる9月、期間終了間際の1月を強化月間と定め、多角的なアプローチによる受診勧奨事業を実施した。 (1)ハガキによる受診勧奨(9月、1月) (2)未受診者への、ハガキ送付並びに送付直後の電話勧奨による受診勧奨(1月～2月) (3)各種メディアを通じた啓発活動事業(広報、かもめ～、各医療機関でのポスター等掲示、ラジオCM等) (4)各種イベント等における関係各課と連携した啓発活動事業(健康まつり、栄養講習会等) (5)啓発バッチ装着 (6)30歳代健診(申し込み制)の実施による、若年層からの健診習慣の醸成 【特定健診受診率実績】 平成28年度特定健診受診率:38.7% 平成29年度特定健診受診率:39.5% 平成30年度特定健診受診率:40.5% 平成31年度特定健診受診率(見込):40.5% なお、令和2年1月27日時点21.3%(昨年同時期19.6%)	・特定健診の受診率の低迷 ・特定保健指導の実施率の低迷

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	取組推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
① 特定健診・各種がん検診等受診率の向上と特定保健指導の充実	所沢市	<p><特定保健指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導に該当した対象者へ、積極的支援区分・動機付け支援区分等対象者により内容を変えて事業案内ハガキを送付。 ・保健師による電話・訪問による特定保健指導未利用者勧奨事業を実施。 ・特定保健指導未利用者勧奨を目的に、講習会等を開催し、対象者へハガキによる勧奨を実施。 <p>[特定保健指導利用率実績]</p> <p>平成28年度特定保健指導実施率： 8.5%</p> <p>平成29年度特定保健指導実施率： 12.4%</p> <p>平成30年度特定保健指導実施率： 20.6%</p>	<p><特定保健指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師会へ特定保健指導(動機付け支援区分)の業務委託の開始。 ・特定保健指導に該当した対象者へ、積極的支援区分・動機付け支援区分等対象者により内容を変えて事業案内ハガキを送付。さらに、積極的支援区分においては、基準値を超えた項目および年代により内容を変えて事業案内ハガキを送付。 ・保健師による電話・訪問による特定保健指導未利用者勧奨事業を実施。 ・特定保健指導未利用者勧奨を目的に、講習会等を開催し、対象者へハガキによる勧奨を実施。 <p>[特定保健指導利用率実績]</p> <p>平成28年度特定保健指導実施率： 8.5%</p> <p>平成29年度特定保健指導実施率： 12.4%</p> <p>平成30年度特定保健指導実施率： 20.6%</p> <p>平成31年度特定保健指導実施率(見込)： 20.6%</p> <p>なお、令和2年1月27日時点4.2% (昨年同時期0%)</p>	
	所沢市	<p>1 40・50・60・70歳の市民に各種検診の案内と切手不要の申し込みはがきを送付 発送件数：19,699件</p> <p>2 保健センターで実施しているがん検診のうち、受診者を女性限定としたレディースデーを7回実施。 受診者数：174人 ※できる限り女性スタッフを配置し、待ち時間にはがん及び健康保持のためのプチ講座を各回開催した。</p> <p>3 保健センターで毎年開催している「健康まつり」で、医師による検診についての講演会を開催。 参加者数：61名</p>	<p>1 40・50・60・70歳の市民に各種検診の案内と切手不要の申し込みはがきを送付 発送件数：19,359件</p> <p>2 保健センターで実施しているがん検診のうち、受診者を女性限定としたレディースデー：217人 ※できる限り女性スタッフを配置し、待ち時間にはがん及び健康保持のためのプチ講座を各回開催した。</p>	・勧奨のはがきは受診率向上に一定の効果があり、40・50・60・70歳のみを対象に送付しているが、費用がかかるためこれ以上の拡大が難しい。
	飯能市	<p>■健康づくり支援課</p> <p>○特定保健指導は市直営で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導に関する埼玉医科大学との共同研究(メタボリックシンドローム効果判定事業)を実施した。 ・特定保健指導未利用者に対し、電話勧奨、再通知、訪問による勧奨(特定保健指導の実施)を行った。 ・特定保健指導開始時にインセンティブの提供を行った(訪問により開始した方を除く)。 	<p>■健康づくり支援課</p> <p>○特定保健指導は市直営で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導に関する埼玉医科大学との共同研究(メタボリックシンドローム効果判定事業)を実施 ・特定保健指導未利用者に対し、電話勧奨、再通知、訪問による勧奨(特定保健指導の実施)を実施 ・特定保健指導開始時及び終了時にインセンティブの実施(条件による)。 ・健診実施医療機関へ特定保健指導実施率向上に向けての協力依頼(窓口説明用フローチャートの配布) 	特定保健指導の実施率が低い。
	飯能市	<p>■健康づくり支援課</p> <p>○各種がん検診の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団がん検診(16日間、11会場) ・女性限定日(2日間)、うち1日は骨粗しょう症検診と同時に実施 ・ほぼ全日程複数の(胃、肺、大腸、乳)を1日で受診可能として実施 ・がん医療機関検診の実施 	<p>■健康づくり支援課</p> <p>○各種がん検診の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団がん検診(16日間、11会場、女性限定日はうち2日間、ほとんどの会場で「胃がん」、「肺がん・結核」、「大腸がん」、「乳がん」が同時受診可能) ・医療機関検診(個別検診)は、「乳がん」、「子宮がん」、「前立腺がん」に加え、今年度から新たに「肺がん・結核」と「大腸がん」を追加 ・未受診者に対して、再勧奨を行った。 	受診率が低いこと
	飯能市	<p>■健康づくり支援課</p> <p>○肝炎ウイルス検診の医療機関での実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診・人間ドックと同時受診の場合は、個人負担金のうち診察料、採血料分を単独受診よりも低額とした。 	<p>■健康づくり支援課</p> <p>○肝炎ウイルス検診の医療機関での実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診・人間ドックと同時受診の場合は、個人負担金のうち診察料、採血料分を単独受診よりも低額とした。 	受診率が低いこと

主な取組	実施主体	令和元年度(予定含む)		
		取組内容・実績	取組推進にあたっての課題・問題点(ある場合)	
① 特定健診・各種がん検診等受診率の向上と特定保健指導の充実	飯能市	<p>■健康づくり支援課</p> <p>○18歳から39歳までの方の健康診査の医療機関での実施</p> <p>・40歳以上の方が対象の特定健康診査と同様の項目で、18歳から39歳の方に対して健康診査の機会を提供</p>	<p>■健康づくり支援課</p> <p>○18歳から39歳までの方の健康診査の医療機関での実施</p> <p>・40歳以上の方が対象の特定健康診査と同様の項目で、18歳から39歳の方に対して健康診査の機会を提供</p>	受診率が低いこと
	飯能市	<p>■保険年金課</p> <p>○特定健診の実施</p> <p>・地区医師会と連携した特定健診の実施</p> <p>・平成30年度受診率 47.5%</p>	<p>■保険年金課</p> <p>○特定健診の実施</p> <p>・地区医師会と連携した特定健診の実施</p>	医療機関に受診をすすめていただいたため、受診数は平成29年度とあまり変わらなかったが、法定報告の受診率にはつながらなかった。
	狭山市	<p>・特定健診受診券と合わせてがん検診の受診案内を送付(送付件数30,805通)</p> <p>・電話での受診勧奨(40歳到達者や連続未受診者を対象。架電件数1,218人)</p> <p>・ハガキでの受診勧奨(前年度新規受診者や連続未受診者を対象。送付件数3,259通)</p> <p>・健診PR(広報紙、ポスター、市ホームページ、市役所庁舎内コミュニケーション)</p> <p>・事業者健診の健診会場で健診結果提供の呼びかけ</p> <p>・特定健診実施指定医療機関で医療機関からの受診勧奨</p>	<p>・特定健診受診券と合わせてがん検診の受診案内を送付(送付件数29,206通)</p> <p>・電話での受診勧奨(40歳到達者や連続未受診者を対象。架電件数2,050人)</p> <p>・ハガキでの受診勧奨(前年度新規受診者や60歳代連続未受診者のうち、特定健診対象医療機関を受診した方を対象。送付件数4,264通)</p> <p>・通知での受診勧奨(県健康マイレージ参加者への通知221通)</p> <p>・健診PR(広報紙、ポスター、市ホームページ、市役所庁舎内コミュニケーション)</p> <p>・事業者健診の健診会場で健診結果提供の呼びかけ</p> <p>・特定健診実施指定医療機関で医療機関からの受診勧奨</p> <p>・保健指導実施率を上げる為、特定保健指導対象者に対して初回面談を兼ねた講座(体成分測定会)を開催する。</p>	特定健診、特定保健指導の受診率(実施率)が目標値を達成していない。 受診率向上の為、特定健診実施指定医療機関との連携が必要不可欠であるが、その具体的方法について。
	狭山市	<p>(1) 特定健康診査等</p> <p>・生活保護対象者等健康診査 対象者707人 受診者110人 受診率15.6%</p> <p>・30歳代健康診査 受診者183人</p> <p>実施方法</p> <p>個別健診 : 特定、後期高齢者、生活保護等健康診査は、市内指定医療機関で実施。</p> <p>集団健診 : 特定と30歳代健診を保健センターで25回/年実施。</p>	<p>(1) 特定健康診査等(1月末の見込み)</p> <p>・生活保護対象者等健康診査 対象者700人 受診者95人 受診率13.6%</p> <p>・30歳代健康診査 受診者155人</p> <p>実施方法</p> <p>個別健診 : 特定、後期高齢者、生活保護等健康診査は、市内指定医療機関で実施。</p> <p>集団健診 : 特定と30歳代健診を保健センターで25回/年実施。</p>	
	狭山市	<p>(2) がん検診等</p> <p>・胃がん検診 個別検診 4,535人 / 集団検診 311人</p> <p>・肺検診 個別検診 16,654人 / 集団検診 912人</p> <p>・大腸がん検診 個別検診 10,560人 / 集団検診 1,155人</p> <p>・前立腺がん検診 個別検診 330人 / 集団検診 63人</p> <p>・肝炎ウイルス検診 個別検診 920人</p> <p>・乳がん検診 個別検診 2,985人 / 集団検診 447人</p> <p>・子宮がん検診 個別検診 頸部1,258人・頸体部 1,412人</p> <p>・成人歯科健診 個別健診 824人</p>	<p>2) がん検診等(1月末の見込み)</p> <p>・胃がん検診 個別検診 5,446人 / 集団検診 406人</p> <p>・肺検診 個別検診 16,999人 / 集団検診 867人</p> <p>・大腸がん検診 個別検診 10,787人 / 集団検診 1,117人</p> <p>・前立腺がん検診 個別検診 282人 / 集団検診 74人</p> <p>・肝炎ウイルス検診 個別検診 380人</p> <p>・乳がん検診 個別検診 4,016人 / 集団検診 544人</p> <p>・子宮がん検診 個別検診 頸部2,080人・頸体部 1,801人</p> <p>・成人歯科健診 個別健診 1,005人</p>	がん検診のうち、肺、大腸がん検診の受診者数が伸びない。肺検診は結核の発見のためにも、検診受診を周知していく必要がある。
	狭山市	<p>(特定保健指導充実)平成30年度実施分(令和元年度報告分)特定保健指導終了者の割合17.8%、特定保健指導対象1233人 終了者220人。</p>	<p>(特定保健指導の充実)健診結果とともに特定保健指導の案内を配布。その後、利用券を個別に送付し、電話勧奨、再度、受講勧奨はがきを通知している。</p> <p>平成30年度から保健センターの集団健診時に初回面接を分割で実施。</p> <p>講座・相談は9月から翌4月まで実施している。</p> <p>1月末現在: 特定保健指導利用者数138人。</p>	特定保健指導の対象者に個別に案内を送り、利用勧奨をしているが利用する人が増えない。
	入間市	<p><特定健診></p> <p>・FMラジオ、ケーブルテレビ、HP、市広報紙での受診勧奨</p> <p>・封筒へ受診促進文書を印刷し健診受診をPR</p> <p>・特定健診受診強化月間を定め啓発ポスターの掲示や啓発物(ポケットティッシュ)を配布し、健診受診をPR</p> <p>・受診率の低い地区に特定健診実施の早い段階で受診勧奨チラシの回覧</p> <p>・未受診者に対して受診勧奨通知を送付</p> <p>特定健診受診者 10,431人</p> <p>特定健診受診率 41.5%</p>	<p><特定健診></p> <p>生活習慣病予防に関する知識の普及を行い、重症化を防ぐとともに、特定健診の受診率向上をめざした。</p> <p>・FMラジオ、ケーブルテレビ、HP、市広報紙での受診勧奨</p> <p>・封筒に受診促進文書を印刷し健診受診をPR</p> <p>・特定健診受診強化月間を定め啓発ポスターの掲示や啓発物(ポケットティッシュ)を配布し、健診受診をPR</p> <p>・受診率の低い地区に特定健診実施の早い段階で受診勧奨チラシの回覧</p> <p>・未受診者に対して受診勧奨通知を送付</p>	

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	取組推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
①特定健診・各種がん検診等受診率の向上と特定保健指導の充実	入間市	<p><がん検診></p> <ul style="list-style-type: none"> ・FMラジオ、ケーブルテレビ、HP、市広報紙等での受診勧奨 ・節目年齢該当者に対して受診勧奨通知を送付 ・精検未受診者に対して受診勧奨通知を送付 <p>肺がん検診受診率 22.94%</p> <p>胃がん検診受診率 5.07%</p> <p>乳がん検診受診率 18.25%</p> <p>子宮頸がん検診受診率 18.15%</p> <p>大腸がん検診受診率 18.98%</p> <p>成人歯科検診受診率 9.35%</p>	<p><がん検診></p> <p>国の指針に準じたがん検診の有効性を周知し、がんの早期発見早期治療につなげるとともに、各種がん検診、成人歯科検診の受診率の向上をめざした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FMラジオ、ケーブルテレビ、HP、市広報紙等での受診勧奨 ・節目年齢対象者に受診勧奨通知を送付 ・精検未受診者に対して受診勧奨通知を送付 ・個別胃がんX線検診を開始して受診者の利便性を図った。 	
	入間市	商業施設を利用して健康相談を実施し、特定健診・各種がん検診の受診勧奨及び特定保健指導のPRを実施した。12か所参加者975人	商業施設を利用して健康相談を行うことで、普段健診・がん検診や保健事業を利用しない方への情報提供を実施する。13か所 参加者854人	
	入間市	特定保健指導を一部業者委託し保健指導の利用率の向上に努めた	特定保健指導を一部業者委託し保健指導の利用率の向上に努める	
	日高市	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の実施(受診率44.6%)・特定保健指導の実施(実施率14.7%) ・各種がん検診等の実施 <p>集団検診については、各種がん検診を同日に複数受診できる検診日を多く設けた。</p> <p>胃がん集団検診:6回実施、703人受診。</p> <p>乳がん集団検診:12回実施、524人受診。</p> <p>乳がん個別検診実施:飯能・日高市内の4医療機関で受診。303人受診。</p> <p>子宮がん集団検診:12回実施、389人受診。</p> <p>子宮がん個別検診:飯能日高市内の9医療機関で受診。379人受診。</p> <p>大腸がん集団検診:24回実施、1672人受診。</p> <p>肺がん集団検診:12回実施、978人受診。</p> <p>肺がん個別検診:飯能日高市内の14医療機関で受診。312人受診。</p> <p>前立腺がん集団検診:1回実施、139人受診。</p> <p>前立腺がん個別検診:飯能日高市内の33医療機関で受診。117人受診。</p> <p>骨粗しょう症集団検診:3回実施、424人受診。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診推進事業の実施(子宮がん・乳がん検診についてクーポン券を発行) 子宮がん検診:集団1人、個別16人受診 乳がん検診:集団45人、個別43人受診 ・特定健診時に肺、大腸がんを同時実施(4回) ・特定健診PR・特定健診の受診期間を3月末まで延長・特定健診未受診者への勧奨(ハガキ、電話等)・特定保健指導・特定保健指導に関する埼玉医科大学との共同研究の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の実施・特定保健指導の実施 ・各種がん検診等の実施 <p>集団検診については、各種がん検診を同日に複数受診できる検診日を多く設けた。</p> <p>胃がん集団検診:7回実施</p> <p>乳がん集団検診:12回実施</p> <p>乳がん個別検診実施:飯能・日高市内の4医療機関で受診。</p> <p>子宮がん集団検診:12回実施</p> <p>子宮がん個別検診:飯能日高市内の9医療機関で受診。</p> <p>大腸がん集団検診:26回実施</p> <p>大腸がん個別検診:飯能日高市内の29医療機関で受診。</p> <p>肺がん集団検診:14回実施</p> <p>肺がん個別検診:飯能日高市内の12医療機関で受診。</p> <p>前立腺がん集団検診:1回実施</p> <p>前立腺がん個別検診:飯能日高市内の37医療機関で受診。</p> <p>骨粗しょう症集団検診:3回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診推進事業の実施(子宮がん・乳がん検診についてクーポン券を発行) ・特定健診時に肺、大腸がんを同時実施(4回) ・特定健診時に肺、大腸がん、胃がんを同時実施(5回) ・特定健診PR・特定健診未受診者への勧奨(ハガキ、電話等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診 若い世代の受診率向上が課題 ・特定健診受診は参加者の目標になりにくい
	狭山保健所	<p>①、②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な保健指導支援事業 H30.10.3 44人 11.30 32人 ・特定健診受診率向上事業 790件 ・働き盛り世代の健康管理研修会:H30.12.18(西部地区保健所合同)参加者53人(管内9人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内各市のヒアリング実施(4月～5月) ・効果的な保健指導支援事業 R1.10.28 41人 R2.1.9 69人 R2.2.5 71人 ・特定健診受診率向上事業 850件 ・市町村健康長寿のための担当者会議 : R1.5.13 9人 9.26 14人 	<p>特定健診・保健指導はH20年度4月に開始された。30年度から第三期が始まった。目標値は二期と変わらない。</p> <p>管内の健診受診率は徐々に増加傾向だが目標値には到達していない。</p> <p>特定保健指導実施率は目標値よりかなり低い状況である。</p> <p>管内市ヒアリングや担当者の研修会を通じて、健診、保健指導の課題を検討し事業の見直し、対策の立て方等保険者と共に取り組む必要がある。</p>

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	取組推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
②特定健診・特定保健指導の体制整備の支援と実務者の育成	所沢市	<ul style="list-style-type: none"> <特定健診> ・特定健診受診券の見直しを行い、受診券・質問票・受診票を一体化した。 <特定保健指導> ・特定保健指導に関わる研修会に積極的に職員を派遣した。 ・保健師の国保担当課の専任化や、医師会への特定保健指導の業務委託の開始等、体制整備の見直しを進めた。また、業務委託の開始に向けて、医師会と協議・調整を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> <特定保健指導> ・特定保健指導に関わる研修会に積極的に職員を派遣した。 ・保健師および管理栄養士(臨職)の国保担当課の専任化を実施した。 ・医師会への特定保健指導(動機付け支援区分)の業務委託を開始した。なお、開始にあたって、実施機関向けに説明会を実施。また、年度途中で実施のやりにくさ等現場の状況を確認するため、アンケートを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生部門との連携(専任化による課題) ・実施率が思うように伸びない(特定保健指導業務委託による課題)
	飯能市	<ul style="list-style-type: none"> ■健康づくり支援課 ・特定保健指導の質の向上のため、スタッフ間カンファレンスを年10回行い、現状分析や課題解決のための検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■健康づくり支援課 ・特定保健指導の質の向上のため、スタッフ間カンファレンスを年10回行い、現状分析や課題解決のための検討を実施。 	
	狭山市	特定保健指導は、保健センター保健師・管理栄養士(臨時・嘱託含む)が保険年金課の兼務により実施している。研修は、保健所・国保連合会主催の研修会に参加している。	同左	
	入間市	健康福祉センターで特定健診を受診した方で特定保健指導の対象となる可能性のある方に対し、その日のうちに保健指導を実施 85回 156人	健康福祉センターで特定健診を受診した方で特定保健指導の対象となる可能性のある方に対し、その日のうちに保健指導を実施 83回 155人	
	日高市	・特定検診及び特定保健指導についてふじみ野市へ視察	・保健指導に関わる研修会に参加	
③禁煙支援・受動喫煙防止対策の推進	飯能地区医師会	各医療機関にて積極的に行っている。	各医療機関にて積極的に行っている。	
	所沢市	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に全戸配布している「健康ガイドとところざわ」及びホームページに受動喫煙や喫煙の影響、日本禁煙学会の「禁煙治療に保険が使える医療機関」のリンクを掲載する等禁煙に関する情報提供を行った。 ・保健センターのがん検診会場、市役所に禁煙週間用のポスターの掲示を行った。 ・希望に応じて健康相談や健康教育も実施できる旨をチラシ等で周知を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に全戸配布している「健康ガイドとところざわ」に“卒煙”に関する広告を掲載した。 ・ホームページに受動喫煙や喫煙の影響、日本禁煙学会の「禁煙治療に保険が使える医療機関」のリンクを掲載する等禁煙に関する情報提供を行ったほか、健康増進法の一部改正に伴う変更内容を周知した。 ・保健センターのがん検診会場、市役所に禁煙週間用のポスターの掲示を行った。 ・希望に応じて健康相談や健康教育も実施できる旨をチラシ等で周知を図っている。 	
	飯能市	<ul style="list-style-type: none"> ■健康づくり支援課 ○保健事業(両親学級・母親学級)における喫煙リスクの周知、特定保健指導の実施 ○妊娠届出、母子健康手帳交付時の禁煙相談 	<ul style="list-style-type: none"> ■健康づくり支援課 ○保健事業(両親学級・母親学級)における喫煙リスクの周知、特定保健指導の実施 ○妊娠届出、母子健康手帳交付時の禁煙相談 	
	狭山市	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の保健関連事業において、喫煙者へ禁煙支援を実施。 ・母子健康手帳交付時に、禁煙相談及びパンフレットの配布を実施。 ・禁煙外来や禁煙支援薬局等、禁煙相談ができる医療機関を紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の保健関連事業において、喫煙者へ禁煙支援を実施。 ・母子健康手帳交付時に、禁煙相談及びパンフレットの配布を実施。 ・禁煙外来や禁煙支援薬局等、禁煙相談ができる医療機関を紹介している。 	
	狭山市		健康増進法の改正に伴い、当市の公共施設における受動喫煙防止対策に関する基本方針を定めた。	
	入間市	5月31日の世界禁煙デーに合わせ喫煙による健康被害の普及啓発キャンペーンを実施した。また、乳幼児健診や講座等の機会に知識の普及啓発及び情報提供を行った。	5月31日の世界禁煙デーに合わせ喫煙による健康被害の普及啓発キャンペーンを実施した。また、乳幼児健診や講座等の機会に知識の普及啓発及び情報提供を行う。	
	日高市		<ul style="list-style-type: none"> ・パパママ教室(両親学級)において、喫煙リスクの周知 ・妊娠届出時に、喫煙リスクについて記載された資料を配布 	
	狭山保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙防止対策の推進(認証施設650施設) ・改正健康増進法に適切に対応するためH30年8月～11月に飲食店における受動喫煙防止対策の実施状況に関するアンケートを実施。 ・健康増進法の改正により受動喫煙防止に関する新たな認証制度が平成31年度に開始予定。それに伴う対応を進める。 ・その他住民や事業所等からの相談に随時対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙防止対策新制度の周知 : 6,318件 ・受動喫煙防止対策実施施設認証施設数 : 69件 ・受動喫煙防止対策研修会 : 3回(10/25 15人 12/6 36人 3/13予定) ・相談・指導件数 : 102件 ・市町村担当者情報交換 : 1回9人 	健康増進法の一部改正について周知に努めた。2020年4月には第二種施設の原則屋内禁煙が施行される。基本的には屋内禁煙が望ましいことを普及しながら既存特定飲食提供施設の適切な対応をすすめていきたい。また、埼玉県の新認証制度の指定に努めたい。

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	取組推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
④糖尿病対策の推進	入間地区医師会	○市とタイアップし糖尿病性腎症重症化予防事業(県共同事業)を実施。 ○「入間市糖尿病を考える会」などの勉強会を継続的に開催。	○市とタイアップし糖尿病性腎症重症化予防事業(県共同事業)を実施。 ○「入間市糖尿病を考える会」などの勉強会を継続的に開催。	
	飯能地区医師会	糖尿病予防、早期発見を特定健診等で行っている(含糖尿病症腎予防プログラム)	糖尿病予防、早期発見を特定健診等で行っている(含糖尿病症腎予防プログラム)	
	狭山市医師会	特定健診結果等による早期予防対策、指導を図る。	糖尿病予防策として、市関係各課と協力して重症化予防事業の充実。	
	所沢市	・埼玉県、埼玉県医師会及び埼玉糖尿病対策推進会議が策定した糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき埼玉県国民健康保険団体連合会が実施する「生活習慣病重症化予防対策事業」に参加し、糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を医療に結びつけるとともに、糖尿病性腎症で通院する患者のうち、重症化するリスクの高い者に対して保健指導を行い、人工透析への移行を防止した。 また、過年度の保健指導修了者のうち、希望者へのフォローアップとして継続支援を実施した。 [平成30年度実績] 受診勧奨通知発送者 : 158人 保健指導参加同意者数 : 58人 保健指導修了者数 : 50人 継続支援参加者数 : 22人	・埼玉県、埼玉県医師会及び埼玉糖尿病対策推進会議が策定した糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき埼玉県国民健康保険団体連合会が実施する「生活習慣病重症化予防対策事業」に参加し、糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を医療に結びつけるとともに、糖尿病性腎症で通院する患者のうち、重症化するリスクの高い者に対して保健指導を行い、人工透析への移行を防止した。 また、過年度の保健指導修了者のうち、希望者へのフォローアップとして継続支援を実施した。 ・継続支援修了者に対し、独自で電話または通知によるフォローアップを実施した。 [令和元年度実績(見込)] 受診勧奨通知発送者 : 164人 保健指導参加同意者数 : 82人 保健指導修了者数(見込) : 67人 継続支援参加者数(見込) : 20人	・対象者の事業への参加率のさらなる向上
	飯能市	■健康づくり支援課 ○個別相談 ・健康相談(年12回)、栄養相談(42回)の実施 ○集団健康教育 ・栄養学セミナー(年6回)、血糖値改善教室(年1回:7回コース)の実施	■介護福祉課 ○認知症施策 ・認知症初期支援事業の充実	
	飯能市	■保険年金課 ○糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施 ・受診勧奨60名 ・保健指導実施5名	■保険年金課 ○糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施 ・受診勧奨38名 ・保健指導実施5名	かかりつけ医からは推薦を多くいただいたが、参加者の同意が得られず保健指導参加者数が少なかった。
	狭山市	・糖尿病予防教室 特定保健指導対象外の方を対象に案内を個別通知し、延べ66人に実施。6回1コース、実施期間3ヶ月間。血液検査を1回目・5回目の2回行い、教室での取り組みを評価している。 ・非肥満高血糖者を対象に健康講座を2回実施。参加人数58人。	・糖尿病予防教室 特定保健指導対象外の方を対象に案内を個別通知し、延べ65人に実施。6回1コース、実施期間3ヶ月間。血液検査を1回目・5回目の2回行い、教室での取り組みを評価している。 ・非肥満高血糖者を対象に健康講座を3回実施予定。定員75人。	
	入間市	・糖尿病性腎症で通院中の患者への保健指導(腎症の病期:2期の場合は保健指導4回、参加者11人)(腎症の病期:3期4期または不明の場合は保健指導7回、参加者3人) ・糖尿病性腎症重症化予防事業の保健指導修了者への継続支援(保健指導2回、参加者5人) ・特定健診結果の糖尿病関係異常値放置者への医療機関への受診勧奨(通知書発送1回目、対象者203人・通知書発送2回目(1回目の勧奨後受診していない人)、対象者117人)(電話による勧奨1回目、対象者49人・電話による勧奨2回目(2回目の通知による勧奨対象者)、対象者26人) ※電話による勧奨は電話番号が判明した人のみ対象	埼玉県による糖尿病性腎症重症化予防対策事業に参加し、糖尿病が重症化するリスクが高い未受診者・受診中断者を医療に結びつけるとともに、糖尿病性腎症で治療中の患者のうち、重症化するリスクの高い通院患者に対して保健指導を行い、人工透析への移行を防止する。 ・保健指導 15人 ・継続支援 5人 ・受診勧奨 通知による勧奨 170人(1回目)、114人(2回目) 電話による勧奨 42人(1回目)、 ※2回目は令和2年2月に予定	
	日高市	・生活習慣病予防相談の実施(42回 延べ141人) ・生活習慣病重症化予防事業の実施(7人指導)	・生活習慣病予防相談の実施(34回 延べ104人)(令和2年1月末時点)	

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	取組推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
④糖尿病対策の推進	狭山保健所		・研修会(糖尿病に対する理解と重症化予防の効果的な取り組み) R2.1.9 69人 R2.2.5(実施予定)	糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を医療に結びつけ、糖尿病性腎症で重症化するリスクの高い通院患者に対して保健指導を行い、人工透析への意向を防止することを目的としている。保健所は研修会等を実施し、保健指導従事者のさらなるスキルアップを図ることが重要である。
⑤健康づくりに関する知識の普及	入間地区医師会	○健康づくりに関する講演会、イベントへの医師の派遣。 ○各種啓発、PRポスター等の医療機関への積極的な掲示。	○健康づくりに関する講演会、イベントへの医師の派遣。 ○各種啓発、PRポスター等の医療機関への積極的な掲示。	
	飯能地区医師会	医師会で市民講座等行っている	医師会で市民講座等行っている	
	所沢市	・歯と口の健康週間行事(6月)健康増進普及月間イベント(9月)健康まつり(11月)等の各種イベント会場に於いて食育・生活習慣病予防関連情報の掲示と相談等を実施した。 ・地域住民・団体から依頼を受け健康教育を実施した。加えて、職域の分野においても、市の保健事業の活用を利用してもらえるよう、情報誌を作成し、労働基準協会の機関誌に同封する等して市内の200事業所に情報を提供している。 ・食育月間イベント(6月)、健康まつり(11月)等の各種イベント会場において食育・生活習慣病予防関連情報の掲示と相談を実施した。	・歯と口の健康週間行事(6月)・健康まつり(11月)等の各種イベント会場に於いて食育・生活習慣病予防関連情報の掲示と相談等を実施した。特に健康まつりでは医師会の協力の下、血糖値測定を行った。 ・地域住民・団体から依頼を受け健康教育を実施した。加えて、職域の分野においても、市の保健事業を活用促進と、生活習慣病予防の啓発を目的に、情報誌を作成し、労働基準協会の機関誌に同封する等して市内の200事業所に情報を提供している。 ・健康まつり(11月)や栄養講習会(12月)等の各種イベント会場において食育・生活習慣病予防関連情報の掲示と相談を実施した。	
	飯能市	■健康づくり支援課 ○「はんのう健康まつり」を開催した(830名)。	■健康づくり支援課 ○「はんのう健康まつり」を開催した(840名)。	
	狭山市	健康づくり講演会 開催日時:平成30年12月8日(土)13時開演 会場:狭山市民会館大ホール 講演内容:「すべての人に健康を!生活習慣病予防と看護」 講師:西武文理大学看護学部看護学科 教授 神庭純子氏 参加者:283人	健康づくり講演会 開催日時:令和元年12月14日(土)13時開演 会場:狭山市民会館小ホール 講演内容:「認知症をよせつけない!正しい認知症予防の知識」 講師:医療法人尚寿会 あさひ病院 西村由美子氏 参加者:241人	
	入間市	高血圧者に対する医療機関への受診勧奨(通知書発送1回、対象者169人)	高血圧者に対する医療機関への受診勧奨(通知書発送1回、対象者156人)	
	入間市	ジェネリック医薬品差額通知書の発送(平成30年10月発送[平成30年7月診療分対象]、543件)、(平成31年3月発送419件[平成31年1月診療分])	ジェネリック医薬品差額通知書の発送、(令和元年10月発送393件[令和元年7月診療分対象])(令和2年3月発送予定)	
	入間市	健康レベルアップキャンペーンの実施(平成30年5月22日~5月25日開催、延べ199人)	健康レベルアップキャンペーンの実施(令和元年5月21日(火)~24日(金)開催、延べ182人)	
	入間市	食生活カレンダーの配付(1,000部)	食生活カレンダーの配付(1,000部)	
	入間市	生活習慣病予防啓発用ポスターの配付(323枚)	生活習慣病予防啓発用ポスターの配付(328枚)	
	入間市	各種パンフレットの配付(「糖尿病の重症化を予防するために」「健康バランス食生活」「今日からできる認知症予防」、各1,000部)	各種パンフレットの配布(「はじめよう セルフメディケーション」「今日から始めるウォーキングガイドブック」、各1,100部「メタボリックシンドローム」、1,000部)	
	入間市	生活習慣病の予防や健康づくりの知識の普及啓発のため「生活習慣改善セミナー」を実施 年2回 71人参加	生活習慣病の予防や健康づくりの知識の普及啓発のため「生活習慣改善セミナー」を実施 1回 参加者56人	
	入間市	各地区公民館において健康アップ教室を実施 参加者116人	各地区公民館において健康アップ教室を実施 7回 参加者178人	
入間市	小中学校、自治会、老人会等への講師派遣による健康教育の実施 74回参加者2020人	小中学校、自治会、老人会等への講師派遣による健康教育の実施 74回参加者1445人		

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	取組推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
⑤健康づくりに関する知識の普及	日高市	<ul style="list-style-type: none"> 各種健康教室の実施(7回1,277人) このうち、埼玉県健康マイレージ参加者を対象とした健康教室「測定&講座ウォーキングの効果を高めて健康アップ」(全5回)も実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動や食事に関する各種健康教室を実施、公民館との共同開催で参加者増加に努める。 12月の特定健康診査受診を目標とし、全5回の教室・教室実施期間中に全3回のおたよりを発行した。 	
	狭山保健所	<ul style="list-style-type: none"> 給食施設講習会:H30.6.20 131人 H30.8.9 341人 H31.2.20 66人 働き盛り世代の健康管理研修会 : H30.12.18 53人 食生活改善推進員研修会 : H30.10.29 68人 健康長寿サポーター養成研修:H30.5.29 258人 H30.10.18 18人 	<ul style="list-style-type: none"> 給食施設講習会 : R1.6.13 289人 R2.9.24 53人 R2.2.13 29人 R2.3.13(実施予定) 食生活改善推進員研修会 : R1.9.26 64人 健康長寿サポーター養成研修 : R1.10.25 15人 R2.3.13(実施予定) 	「埼玉県健康長寿計画」に基づき健康づくり事業を展開するとともに、地域課題の把握・分析、地域特性を踏まえた事業の企画、提案を行う。給食施設を通じた地域・職域の取組みをすすめ壮年期の健康づくりに働きかける。
	狭山保健所	<ul style="list-style-type: none"> 食品表示法に基づく栄養成分表示指導:25件 健康づくり協力店 店舗数:119件 歯科口腔保健連携推進会議:H31.1.24 31人 	<ul style="list-style-type: none"> 食品表示法に基づく栄養成分表示指導:37件 健康づくり協力店 店舗数:119件 2月～3月指定予定 歯科口腔保健連携推進会議:R1.12.12 35人 	食品表示については、令和2年3月31日に旧法の経過措置期間が終了する。相談、苦情等に対応しながら、適切な食品表示の普及・啓発を図る。

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
①小児救急医療体制の充実・強化	入間市	小児科二次救急医療体制の支援や夜間診療所の初期救急医療体制の充実を図るため、入間市夜間診療所を開設し、内科・小児科の診療を週4日(日曜・月曜・木曜・土曜)行っている。なお、狭山市との共同により、一週間を通じた夜間の初期救急医療体制を整備している。 年間合計診療日数208日、年間患者数1661人(うち0歳:3.07%、1~4歳:23.72%、5~14歳:36.24%の利用であり、小児科の患者が全患者数の60%以上を占めている。)	小児科二次救急医療体制の支援や初期救急医療体制の充実を図るため、入間市夜間診療所を開設し、内科・小児科の診療を週4日(日曜・月曜・木曜・土曜)行っている。なお、夜間の初期救急医療体制については、狭山市との協同で一週間を通じて整備しており、両市民の相互利用を可能としている。 1月末現在診療日数172日、1月末現在患者数1267人(うち0歳:3.08%、1~4歳:29.99%、5~14歳:35.83%の利用であり、小児科の患者が全患者数の65%以上を占めている。)	小児科二次救急医療体制の月曜日、第5日曜日昼間及び全日曜日の夜間が空白である。
	入間市	小児科二次救急医療体制の月曜日が空白であるため、全ての曜日の診察体制が確保される様に積極的に働きかける。	※上記にとりまとめ	
	入間市	入間市・狭山市それぞれが実施している休日夜間の初期救急医療については、相互利用が可能となっている。	※同上	
	日高市	・地区医師会等への運営費の助成・休休日・夜間診療所の開設(地区医師会へ委託)・市民への周知(保健事業計画、広報誌、ホームページ等)	・地区医師会等への運営費の助成・休休日・夜間診療所の開設(地区医師会へ委託)・市民への周知(保健事業計画、広報誌、ホームページ等)	
	狭山保健所	①、③ 小児二次救急の輪番空白日解消等のため、関係医療機関、医師会、市と調整を図るとともに、所沢地区救急医療対策協議会及び実務者による調整会議を実施した。	①、③ 小児二次救急の輪番空白日解消等のため、関係医療機関、医師会、市と調整を図るとともに、所沢地区救急医療対策協議会及び実務者による調整会議を実施した。	小児科医師の確保
②子供の急病等に関する情報提供の強化	飯能地区医師会	#8000などの利用を推進している。	#8000などの利用を推進している。	
	所沢市	・引き続き、市内に全戸配布している「健康ガイドところざわ」に救急医療に関するページを設けて周知に努めたほか、市ホームページ等を通じて、埼玉県救急電話相談(#7119)の周知を図った。	・引き続き、市内に全戸配布している「健康ガイドところざわ」に救急医療に関するページを設けて周知に努めたほか、市ホームページ等を通じて、埼玉県救急電話相談(#7119)の周知を図った。	
	所沢市	・ところざわほっとメール(情報メール配信サービス)での情報提供を継続して実施。 ・小児急患診療に係るポスターと案内カードを市内109か所に配布。 ・広報ところざわに、毎月の休日及び夜間・深夜の診療情報を掲載。	・ところざわほっとメール(情報メール配信サービス)での情報提供を継続して実施。 ・小児急患診療に係るポスターを市内109か所に配布。 ・広報ところざわに、毎月の休日及び夜間・深夜の診療情報を掲載。	
	狭山市	広報紙やホームページ等で、「子どもの急病時の電話相談」や「休日・夜間の救急診療体制」について、市民への周知を図った。	広報紙やホームページ等で、「子どもの急病時の電話相談」や「休日・夜間の救急診療体制」について、市民への周知を図った。	
	入間市	救急電話相談(#7119)及び埼玉小児救急電話相談(#8000)について、市公式ホームページ、市公式モバイルサイト、広報いるま、保健情報誌「健康いるま」に情報を掲載している。	救急電話相談(#7119)及び埼玉小児救急電話相談(#8000)について、市公式ホームページ、市公式モバイルサイト、広報いるま、保健情報誌「健康いるま」に情報を掲載している。	
	入間市	「県・子どもの救急ミニガイドブック」を市公式ホームページに情報を掲載している。また「新生児訪問」や「こんにちは赤ちゃん訪問」時(両者で全戸訪問)に同冊子を配布している。	「県・子どもの救急ミニガイドブック」を市公式ホームページに情報を掲載している。また「新生児訪問」や「こんにちは赤ちゃん訪問」時(両者で全戸訪問)に同冊子を配布している。	
	日高市	・県作成のガイドブックを母子健康手帳交付時に配布・県の救急電話相談等をホームページ等で周知	・市民への周知(広報誌への掲載、県作成パンフレットの配布)	
	狭山保健所	ホームページで小児救急電話相談等に関する周知を行った。	ホームページで小児救急電話相談等に関する周知を行った。	効果的な周知方法の確立

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
③小児救急医療を検討するネットワークの機能強化	飯能地区医師会	病診連携を飯能、日高市内・埼玉医科大学等と行っている。	病診連携を飯能、日高市内・埼玉医科大学等と行っている。	いわゆるコンビニ受診がまだ多い
	所沢市	・市の小児初期救急医療の推進について総合的に協議するため、「所沢市小児初期救急医療推進ネットワーク協議会」を年2回(10月、1月)開催し、情報の交換、施策の提案等を行った。 ・所沢地区小児科救急医療病院群輪番制事業等の協議を通じ、県及び所沢地区(所沢市、入間市、狭山市)間での関係強化に努めた。	・市の小児初期救急医療の推進について総合的に協議するため、「所沢市小児初期救急医療推進ネットワーク協議会」を年2回(10月、2月)開催し、情報の交換、施策の提案等を行った。 ・所沢地区小児科救急医療病院群輪番制事業等の協議を通じ、県及び所沢地区(所沢市、入間市、狭山市)間での関係強化に努めている。	
	狭山市	所沢地区の小児科二次救急医療体制の再構築を引き続き、入間市及び所沢市と共に狭山保健所に要請した。 【所沢地区小児二次救急医療体制】 火曜日・水曜日・第3日曜日昼間(入間川病院)、木曜日・土曜日(西埼玉中央病院)、金曜日・第2・第4日曜日(埼玉石心会病院)、第1日曜日昼間(狭山厚生病院)週7日の診療体制	所沢地区の小児科二次救急医療体制の再構築を引き続き、入間市及び所沢市と共に狭山保健所に要請した。 【所沢地区小児二次救急医療体制(令和2年1月末現在)】 火曜日・水曜日・第3日曜日昼間(入間川病院)、木曜日・土曜日(西埼玉中央病院)、金曜日・第4日曜日(埼玉石心会病院)、第1日曜日昼間(狭山厚生病院)週7日の診療体制	担当医不在の夜間や休日の小児救急患者に対応すべく、第二次小児救急医療体制の整備促進のため、早急な医師等の確保が必要

第7次埼玉県地域保健医療計画 西部保健医療圏 圏域別取組 進捗状況(実績)調書(3)

圏域別取組	精神疾患医療
目標	心の健康の保持・増進を図り、症状やニーズに応じた保健・医療・福祉サービスが速やかに受けられる支援体制を整備します。
主な取組	①精神疾患への正しい知識の普及 ②精神保健医療福祉に関する相談窓口の充実 ③精神疾患の状態に応じた適切な医療の提供 ④措置入院者の退院後支援を含む精神障害の地域包括ケアシステムの構築
実施主体	保健所、市、医師会、医療機関、薬剤師会、消防、福祉機関、教育機関、労働機関

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
①精神疾患への正しい知識の普及	所沢市	・こころの健康講座等の実施 一般市民向け講座 6回 延べ 356人 当事者家族向け講座2回 延べ 85人 ・各種疾患のつどい(うつ病、強迫性障害、発達障害)60回 延べ 463人 ・所沢こころの美術展4日間 延べ 2,533人	・こころの健康講座等の実施 一般市民向け講座 7回 延べ 500人 当事者家族向け講座 2回 延べ 70人 ・各種疾患のつどい(うつ病、強迫性障害、発達障害)60回 延べ400人 ・所沢こころの美術展 4日間 延べ 2,849人	・引き続き事業を実施し、精神保健及び精神障害について普及啓発を行い市民の理解を深めていく必要がある。
	飯能市	■健康づくり支援課 ○精神保健事業 ・こころの健康づくりの集い(講演会:年1回 2月23日 参加者60人) ○自殺対策事業 ・体制整備・飯能市自殺対策計画いのち・つなげる 策定(基本方針:生きることの包括的支援体制の確立) ・啓発普及事業 ・こころの健康づくりの集い(人材育成:年1回 2月23日 参加者50人) ・自殺予防週間特別展示「いのち・つなげる」 ・自殺対策強化月間特別展示「いのち・つなげる」 ・人材育成:ゲートキーパー(こころの健康づくりサポーター)養成 ○アルコール健康障害対策 ・アルコール関連問題啓発講座(年1回 11月9日 参加者18人) ・アルコール節酒指導HAPPYプログラム(2回/1クール;実参加者数15人) ・新成人への啓発 (市成人式にてリーフレット対面配布:300部、一気飲み防止、飲酒運転禁止)	■健康づくり支援課 ○自殺対策事業 ・啓発普及事業 ・こころの健康づくりの集い(講演会:年1回 8月31日 参加者88人) ・自殺予防週間特別展示「いのち・つなげる」 ・人材育成 関係者向け研修会 グリーフケア技術習得 定員30人(予定) ・自殺対策強化月間 自殺対策パンフレット窓口配布 ○アルコール健康障害対策 ・アルコール関連問題啓発講座(年1回 11月8日 参加者18人) ・アルコール節酒指導HAPPYプログラム(2回 参加者延べ19人)	
	飯能市	■介護福祉課 ○認知症対策 ・アルツハイマーデーに合わせた特別展示を市立図書館(平成30年9月1日～10月8日)で実施、講演会は平成30年10月7日実施し、204人の参加があった。 ・認知症サポーター養成講座 19回 615人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回 33人	■介護福祉課 ○認知症施策 ・認知症ケアパスの普及 ・アルツハイマー月間に普及活動を実施(市民公開講座、図書館特別展示、映画上映、出張版ひだまりカフェの実施 ・認知症サポーター養成講座と認知症サポーターステップアップ講座の実施 ・高齢者等徘徊SOS模擬訓練(ひとり歩きやさしい声かけ訓練)の実施	■介護福祉課 より多くの市民が認知症に関する正しい知識と理解を身に付けるため、さまざまなイベントや講座をとおして普及に努めているが、今後も継続的に認知症の方が受け入れられる地域を目指し、地域での見守り体制のネットワークを構築していく必要がある。 また、若年性認知症への支援を充実していくことが課題である。

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
①精神疾患への正しい知識の普及	狭山市	精神疾患への正しい知識の普及 ・自殺対策講演会「命の守り方 ～子どもと若者の生きづらさを考える～」 講師:東京未来大学 教授・臨床心理士 須田 誠 氏 開催日時:平成30年10月4日実施 対象:市民73人 ・こころの健康講座「精神科医によるこころに優しい落語会」 開催日時:平成30年11月12日実施 対象:市民86人 ・自殺対策研修会「うつや不安な気持ちを抱えた人の支え方、寄り添い方について」 講師:NPO法人 メンタルレスキュー協会 小野田 奈美 氏 開催日時:平成31年3月20日実施予定 対象:市民 定員80人	精神疾患への正しい知識の普及 ・自殺対策研修会～身近な方の「死にたい気持ち」を理解するために～ 講師:講師:NPO法人 メンタルレスキュー協会 本多 昌子 氏 開催日時:令和元年8月21日実施予定 対象:市職員及び医療福祉関連機関職員 74人 ・自殺対策講演会「あなたが大切な人にできること～うつ蔓延社会をうつ円満社会へ～」 講師:株式会社 ありがとう代表 うつ専門カウンセラー(精神保健福祉士)澤登 和夫氏 開催日時:令和元年9月25日実施 対象:市民110人 ・自殺対策講演会「職場や生活の中でできるストレスマネジメント～こころの余裕の作り方～」 講師:一般社団法人心理支援ネットワークPLUS 代表理事・臨床心理士 大林 裕司氏 開催日時:令和元年10月29日実施 対象:市内在住在勤58人 ・自殺対策講座「人はなぜ依存症になるのか～アルコール、ギャンブル、インターネットなど～」 講師:医療法人 榎本クリニック 精神保健福祉士 伊藤 彰彦氏 開催日時:令和2年1月30日実施 対象:市民56人 ・自殺対策研修会～身近な方の「死にたい気持ち」を理解するために～ 講師:NPO法人 メンタルレスキュー協会 小野田 奈美 氏 開催日時:令和2年3月26日実施予定 対象:市民 定員30人	
	入間市	統合失調症講座の実施 2回講座/年 (参加者 延88人)	統合失調症講座の実施 2回講座/年 (参加者 延34人)	
	入間市	発達障害者支援事業講演会の実施「発達が気になるお子さんへの関わり方」1回/年 (参加者 57人)	発達障害者支援事業講演会の実施「発達に個性のある子への対応のポイント」1回/年 (参加者 44人)	
	入間市	精神保健福祉講演会の実施「発達に特徴のある子の力を伸ばす関わりと空間づくりのコツ」2回講座/年 (参加者 延153人) 「思春期のこころの理解～精神疾患への気づきと関わり方～」1回講座/年 (参加者45人)	精神保健福祉講演会の実施「こころに寄り添うコミュニケーションを磨く!～ゲートキーパー養成講座～」2回講座/年 (参加者 見込延190人)	
	入間市	自殺予防週間街頭キャンペーンの実施 (入間市駅・武蔵藤沢駅にて啓発グッズ2000個)の配布	自殺予防週間街頭キャンペーンの実施 (入間市駅・武蔵藤沢駅にて啓発グッズ2350個)の配布	
	入間市	認知症サポーター養成講座の開催(28回開催 のべ1,429人参加)	認知症サポーター養成講座の開催(36回開催 延 1,690人参加) 住民へのPRの実施(市広報9/1で特集ページ掲載、市民ホールへの展示)	
	日高市	精神障害者家族会及び近隣精神科医療機関等で実施する家族講座、家族会、創作作品点等に関する広報掲載を実施	①家族会開催…6月、9月、3月広報掲載 ②家族学習会実施…8月広報掲載 ③ひきこもり講演会…10月広報掲載 ④発達障害者就労支援センター(ジョブセンター)紹介…11月広報掲載 ⑤障がい者の美術作品等の展示出品会紹介…10、12月広報掲載	障がい福祉課では、特に『精神疾患医療』に関する事業というより障がい者施策全般の中に「精神障害者」も位置付けるという考え方であることから、精神疾患医療に特化した事業はほぼない状況です。ただ、今後も「精神障害者」が福祉サービスの受益者であるという視点から、積極的な広報やホームページの活用を推進します。
	日高市	・こころの健康に関する教室及び講演会の開催(各年1回、延べ31人) ・ゲートキーパー養成講座の開催(市民向け年1回、延べ19人) ・うつ病家族交流会の開催(年12回、延べ37人) ・健康まつりにてこころの健康に関する情報及び体験コーナーの実施	・こころの健康に関する教室及び講演会の開催(各年1回) ・ゲートキーパー養成講座の開催(民生委員等向け年1回、延べ94人) ・うつ病家族交流会の開催(年12回) ・健康まつりにてこころの健康に関する情報及び体験コーナーの実施	
狭山保健所	・自殺対策公開講座「地域支援者のための“こころの相談”パワーアップ講座」 10月29日 参加者73人 ・ひきこもり公開講座「ひきこもりの理解を深めるために～関わりポイント～」 11月9日 参加者49人 ・精神保健関係者研修「ギャンブル等の依存関連問題のとりえ方と支援について考える」2月26日 参加者52人	・ひきこもり公開講座「ひきこもりから元気になるために家族のできること」 9月9日 参加者80人 ・管内精神保健福祉担当者研修会「相談支援の基本」 9月19日 参加者60人 ・アルコール依存症研修会(3回コース) 参加者計85人		

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
②精神保健医療福祉に関する相談窓口の充実	所沢市	<ul style="list-style-type: none"> ・随時相談(メール、電話、来所、訪問) 延べ 8,029件 ・精神科医師による精神保健専門相談事業 12回 延べ23人 ・思春期ごろの健康相談事業 10回 延べ18人 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時相談(メール、電話、来所、訪問)延べ 8,000件 ・精神科医師による精神保健専門相談事業 12回 延べ20人 ・思春期ごろの健康相談事業 12回 延べ20人 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉担当職員の相談技術の向上が課題である。
	飯能市	<ul style="list-style-type: none"> ■健康づくり支援課 ○精神保健相談・自殺ハイリスク者への相談支援 ・保健師(地区担当制)・精神保健福祉士による随時の個別支援(面接・訪問) ・保健所が実施する措置入院者退院後支援への協力 ○精神保健事業 ・臨床心理士によるこころの健康相談(年4回 予約制 3件/回×4回) ○自殺対策事業 ・対面相談支援事業 ・「うつに関する相談会」(年2回 9月、3月 予約制 3件/回×2回) ・「うつ病体験者と家族の集い」(年6回) ・ピアサポート相談会・交流会 参加者25人(こころの健康づくりの集いに併せて実施) ○アルコール健康障害対策 ・酒害相談会(年12回) 	<ul style="list-style-type: none"> ■健康づくり支援課 ○精神保健相談・自殺ハイリスク者への相談支援 ・保健師(地区担当制)による随時の個別支援(面接・訪問) ・保健所が実施する措置入院者退院後支援への協力 ○精神保健事業 ・臨床心理士によるこころの健康相談(年4回 予約制 3件/回×4回) ○自殺対策事業 ・対面相談支援事業 ・「うつに関する相談会」(年2回 9月、3月 予約制 3件/回×2回) ・「うつ病体験者と家族の集い」(年6回) ○アルコール健康障害対策 ・酒害相談会(年12回) 	
	飯能市	<ul style="list-style-type: none"> ■障害者福祉課 ○障害者相談支援事業における委託相談支援事業所を2か所から4か所に増設した ○成年後見制度利用支援事業の実施(申立件数0件、報酬助成1件) 	<ul style="list-style-type: none"> ■障害者福祉課 ○委託による相談支援事業を地域包括支援センターに併設し4か所で行った ○成年後見制度利用支援事業の実施(申立支援件数2件(見込)、報酬助成1件(見込)) 	<ul style="list-style-type: none"> ■障害者福祉課 ○地域生活支援拠点の面的整備に関する協議の中で、精神障害に関する相談支援について検討する ○成年後見利用促進法施行の施行に伴い飯能市成年後見制度利用促進審議会の設置について協議を開始した
	飯能市	<ul style="list-style-type: none"> ■介護福祉課 ○認知症対策 ・認知症相談センターの設置、相談窓口の充実(基幹型・4か所の地域包括支援センターに委託) ・認知症初期集中支援事業 対象者5人 	<ul style="list-style-type: none"> ■介護福祉課 ○認知症施策 ・認知症相談センターの設置、相談窓口の充実(基幹型・4か所の地域包括支援センターに委託) ・認知症初期集中支援事業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ■介護福祉課 支援対象者の早期発見と担当機関への円滑な引き継ぎ、継続的なフォロー体制の整備をすることが課題である。
	狭山市	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健福祉に関する相談窓口の充実 ・ゲートキーパー研修 開催日時:平成30年7月31日 対象:市職員及び医療福祉関連機関職員65人 ・精神保健相談12件(奇数月開催)平成31年1月時点(3月末見込 14件) ・こころの相談16件(偶数月開催)平成31年2月時点(予約申し込み時点) ・個別相談(随時) ・相談機関周知用ポケットティッシュの配布(随時)⇒保健センター、市内サービス支援事業所 	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健福祉に関する相談窓口の充実 ・ゲートキーパー研修 開催日時:令和元年8月21日 対象:市職員及び医療福祉関連機関職員74人 ・精神保健相談10件(奇数月開催)令和2年1月時点(3月末見込 13件) ・こころの相談13件(偶数月開催)令和2年2月時点(予約申し込み時点) ・個別相談(随時) ・相談機関周知用ポケットティッシュの配布(随時)⇒保健センター、市内サービス支援事業所 	<ul style="list-style-type: none"> 今までは成人対象の相談が多かったが、ここ数年は10代の精神保健相談が増加しており、対応策を検討していく必要がある。
	入間市	<ul style="list-style-type: none"> 精神科医によるこころの相談・もの忘れ相談 4回/年(相談 11件) 	<ul style="list-style-type: none"> 精神科医によるこころの相談・もの忘れ相談 4回/年(相談 9件) 	
	入間市		<ul style="list-style-type: none"> ひきこもり相談 6回/年(相談 見込24件) ※令和元年度より新規事業 	
	日高市	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科医によるこころの健康相談(年6回、延べ11人) ・精神保健福祉士及び保健師による個別相談(随時、面接相談延べ180件、訪問相談延べ150件、電話相談延べ2,108件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科医によるこころの健康相談(年6回、延べ15人) ・精神保健福祉士及び保健師による個別相談(随時、面接、訪問、電話相談) 	
	狭山保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・専門相談 精神保健相談:2回 4件 ひきこもり相談:3回 4件 ・精神保健相談 訪問:延べ916件 面接:延べ1,018件 電話:延べ4,826件 ・ひきこもり家族の集い 12回 延べ99人 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門相談 精神保健相談:4回 4件(見込) ひきこもり相談:6回 10件(見込) ・精神保健相談 訪問:延べ950件(見込) 面接:延べ950件(見込) 電話:延べ5,000件(見込) ・ひきこもり家族の集い 12回 延べ90人(見込) 	<ul style="list-style-type: none"> 管内市、相談機関との連携を強化し、各機関での事業の効果的な促進を図る。

主な取組	実施主体	令和元年度(予定含む)		
		平成30年度の実績	取組内容・実績	
③精神疾患の状態に応じた適切な医療の提供	所沢市	・所沢市精神保健福祉担当者連絡会 1回 40団体参加 出席者66人 ・所沢市自立支援協議会こころ部会 9回 延べ225人 ・福祉事業所と事例検討 14回 延べ172人 ・精神障害者アウトリーチ支援事業の実施 対象者75人	・所沢市精神保健福祉担当者連絡会 1回 42団体参加 出席者63人 ・所沢市自立支援協議会こころ部会 12回 延べ240人 ・福祉事業所と事例検討 15回 延べ190人 ・精神障害者アウトリーチ支援事業の実施 対象者80人	・精神疾患の状態に応じた適切な医療の提供ができるよう、関係機関同士の顔の見える連携が必要である。
	飯能市	■医療政策室 ○市訪問看護ステーションによる訪問看護(医療保険)の実施(訪問件数268件)	■医療政策室 ○市訪問看護ステーションによる訪問看護(医療保険)の実施	
	狭山市	精神疾患の状態に応じた適切な医療の提供 ・訪問及び相談に伴い、受診勧奨・受診同行を実施(随時)	精神疾患の状態に応じた適切な医療の提供 ・訪問及び相談に伴い、受診勧奨・受診同行を実施(随時)	
	狭山保健所	・精神科受療への緊急介入・支援(通年) 229件	・精神科受療への緊急介入・支援(通年) 230件(見込)	件数の増加に対応できる体制整備
④措置入院者の退院後支援を含む精神障害の地域包括ケアシステムの構築	飯能市	■障害者福祉課 ○飯能市障害者支援協議会に精神保健福祉ワーキンググループを設置し協議を行った(年4回) ○精神保健福祉フォーラムの開催 ・テーマ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム ・対象 介護支援専門員他関係機関職員 ・参加者82人	■障害者福祉課 ○飯能市障害者支援協議会に精神保健福祉ワーキンググループを設置し協議を行った(年6回) ○人材育成 障害者支援協議会介護支援専門員協議会共催研修会 ・テーマ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について ・対象 介護支援専門員、相談支援専門員、関係機関・団体職員及び当事者会メンバー ・参加者101人 ○精神保健福祉フォーラムの開催(3月12日実施予定) ・テーマ 精神障害者ピアサポート活動の推進	■障害者福祉課 ○予防的訪問支援体制の構築 ・保健所との協働による多職種訪問支援チームの構築が課題となっている ○在宅支援の支え手の確保 ・相談支援専門員、介護支援専門員、ホームヘルパー、訪問看護師等の確保について課題となっている ○ピアサポーターを活用した地域移行・地域定着、地域生活支援に関する取組の充実 ・ピアサポートメンバーによる友愛訪問活動について、精神科医療機関との受入調整が課題となっている。
	飯能市	■介護福祉課 ○地域包括ケアシステムの構築 ・認知症施策の推進(認知症カフェ9か所実施、認知症初期支援事業では専門職がチームで関わることで、医療機関等に繋がっている。)	■介護福祉課 ○認知症施策 ・認知症初期支援事業の充実	■介護福祉課 ・認知症の方が地域で生活する場合は、医療機関と連携をとりながら支援を継続していく必要がある。
	狭山市	地域生活支援体制の充実 ・ソーシャルクラブ 年45回実施	地域生活支援体制の充実 ・ソーシャルクラブ 年45回実施	
	入間市	精神保健福祉医療地域連携会議の開催 1回/年 33機関(参加者56人)	精神保健福祉医療地域連携会議の開催 2回/年(参加者 延べ88機関117人)	
	日高市	精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築に関する研修参加及び協議の場の設置	①令和元年度埼玉県狭山保健所精神障害者地域支援体制構築会議出席 ②令和元年度埼玉県狭山保健所精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築推進研修出席 ③令和元年度精神障害者を地域で支えるシステム構築事業連絡会出席 ④日高市障害者地域総合支援協議会内に精神障害に対応した地域包括システム構築の協議の場を設置(7月、3月開催:延38人参加予定)	現時点では、精神障害にも対応した地域包括システムの構築に関して全体像がつかめない状況であることから、今後課題を感じることでありそうです。ただ、法的な根拠や予算措置の無い中で、市独自のシステム構築を検討していくことの困難さを感じています。現状では、ピアスタッフの創設や近隣の精神科医療機関等と連携して徐々に退院支援を積み重ねるくらいしか思いつきません。
	日高市	・ソーシャルクラブの実施(週1回、年47回、延べ246人)	・ソーシャルクラブの実施(週1回)	
	狭山保健所	・精神障害者支援地域協議会(代表者会議) 12月25日 参加者39人 ・精神障害者地域支援体制構築会議 12月25日 参加者45人 ・精神障害者地域移行支援事業連絡会 2回 参加者44人 ・精神障害者相談支援従事者専門研修 1月25日 参加者66人 ・措置入院者解除後支援検討会議 年24回	・精神障害者支援地域協議会(代表者会議) 10月29日 参加者34人 ・精神障害者地域支援体制構築会議 10月29日 参加者39人 ・精神障害者を地域で支えるシステム構築事業連絡会 2回 参加者39人 ・精神障害者を地域で支える地域包括ケアシステム構築推進研修 1月23日 参加者53人 ・措置入院者解除後支援検討会議 年24回	・地域支援機関の連携体制の強化 ・地域支援従事者のスキルアップ

第7次埼玉県地域保健医療計画 西部保健医療圏 圏域別取組 進捗状況(実績)調書(4)

圏域別取組	親と子の保健対策
目標	妊娠期からの切れ目のない相談支援体制の強化とともに関係機関とのネットワークづくりを進めます。また、リスクの高い家庭への支援を徹底し、児童虐待防止に努めます。
主な取組	①妊娠・出産期からの相談支援体制の強化
	②未熟児等への専門職による家庭訪問の強化
	③児童虐待防止のための連携体制強化
	④思春期対策の推進
	⑤妊娠期からの小児歯科保健対策の推進
実施主体	市、保健所、医療機関、教育機関、児童相談所

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
①妊娠・出産期からの相談支援体制の強化	所沢市	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代包括支援センター(母子保健型)に3名の専門相談員を配置。妊娠・出産期における相談支援体制の充実を図った。妊娠届出時保健師未面談者に対して、マタニティコールを行い、全妊婦の把握に努めた。訪問については、新生児・妊産婦訪問及びこんには赤ちゃん訪問を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代包括支援センター(母子保健型)に3名の専門相談員を配置。妊娠・出産期における相談支援体制の充実を図った。妊娠届出時保健師未面談者に対して、マタニティコールを行い、全妊婦の把握に努めた。訪問については、新生児・妊産婦訪問及びこんには赤ちゃん訪問を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠届出時専門職による面談率は5割程度に留まっている。全数面談に向けての取組みが必要である。
	飯能市	<ul style="list-style-type: none"> ■健康づくり支援課 子育て世代包括支援センターを設置し、原則、全員、妊娠届出時に保健師による面接を実施し母子健康手帳を交付した。 妊娠届出時から特定妊婦を把握し、個別支援の実施。 周産期からの虐待予防による医療機関等からの連絡支援による訪問指導の実施。 母親学級(3回×6クール) 母親学級OG会(年6回) 両親学級 新生児訪問(乳児家庭全戸訪問事業) 	<ul style="list-style-type: none"> ■健康づくり支援課 子育て世代包括支援センターで、原則、全員、妊娠届出時に助産師または保健師による面接を実施し母子健康手帳を交付した。 妊娠届出時面接から特定妊婦を把握し、個別支援を実施した。 周産期からの虐待予防による医療機関等からの連絡・連携による訪問指導の実施。 母親学級(3回×6クール) 母親学級OG会(年6回) 両親学級(年4回) 新生児訪問(乳児家庭全戸訪問事業) 	
	狭山市	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠・出産期からの相談支援体制の強化 母子保健型利用者支援事業として、保健センターに加え、平成30年7月より本庁舎でも妊娠届出時の面談を開始した。面談率は77.4%で、支援の必要なかたへの早期支援につながった。 	令和元年度より、妊娠届出の窓口を、保健センターと本庁舎の2か所とし全ての妊婦と面談することを目指している。	なし
	入間市	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代包括支援センター母子保健型1か所、特定型1か所(9月1日～基本型へ変更)を設置。 妊娠届、母子健康手帳発行時に専門職による面接を実施 783件/年 妊娠期からの継続支援プランの作成 61件/年 子育て世代包括支援センター間でのケース対応に関する定例会議を実施 12回/年 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代包括支援センター母子保健型1か所、特定型1か所を設置。 妊娠届、母子健康手帳発行時に専門職による面接を実施(見込み800件) 妊娠期からの継続支援プランの作成(見込み60件) 子育て世代包括支援センター間でのケース対応に関する定例会議を実施(12回/年) 	妊娠届からのリスクアセスメントが的確にできるように、マニュアルや研修等を等を活用して専門職の質の向上を目指す。
	日高市	<ul style="list-style-type: none"> 助産師による、妊娠届け出時の面接や産後間もない産婦への電話相談(延べ564人) 助産師、保健師による妊産婦の家庭訪問(延べ328人) パパママ教室の開催(年6回(1コース5回 延べ68人)) 	<ul style="list-style-type: none"> 助産師による、妊娠届け出時の面接や産後間もない産婦への電話相談を行い、妊産婦に対する相談支援を行った 助産師、保健師による妊産婦の家庭訪問を実施 パパママ教室の開催(年4回(1コース3回) 延べ110人)(令和2年2月実施分まで) 	
	狭山保健所	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期からの虐待予防強化事業看護連携会議開催(2回開催、延べ66人) 	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期からの虐待予防強化事業看護連携会議開催(1回開催、27人) 内容:報告、情報交換、ミニ講座等 参加者:管内分娩取り扱いのある医療機関助産師、管内市保健師等(令和2年3月9日開催予定) 	

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
②未熟児等への専門職による家庭訪問の強化	所沢市	・未熟児養育医療受給者に対し、申請時、主に地区担当保健師による面接を経て、母子への訪問指導を行った。ケースの必要に応じ、母の精神面へのフォロー、病院との調整、母の要望により、未熟児サロンの開催などを行っている。	・未熟児養育医療受給者に対し、申請時、主に地区担当保健師による面接を経て、母子への訪問指導を行った。必要に応じ、母の精神面へのフォロー、病院との調整を図った。	
	飯能市	■健康づくり支援課 ○未熟児養育医療受給者への訪問支援	■健康づくり支援課 ○未熟児養育医療受給者への訪問支援	
	狭山市	未熟児当への専門職による家庭訪問の強化 助産師・保健師による新生児訪問・・・534件	助産師・保健師による新生児訪問・・・543件(見込)	助産師の人員確保と質の向上
	入間市	・未熟児訪問指導の実施 延べ52件/年	・未熟児訪問指導の実施(見込み50件/年)	
	日高市	・保健師、助産師による家庭訪問を実施し、必要なサービスにつなげるなどの支援を実施	・保健師、助産師による家庭訪問を実施し、必要なサービスにつなげるなどの支援を実施	
	狭山保健所	・産後の母親のメンタルヘルス支援研修会の開催(2回開催、延べ76人)	・産後の母親のメンタルヘルス支援研修会の開催(2回開催、延べ58人) 内容:講義、ロールプレイ、グループワーク等 参加者:管内分娩取り扱いのある医療機関助産師、管内市保健師等	・保健、医療、福祉関係職員に対する人材育成の充実
③児童虐待防止のための連携体制強化	所沢市	・乳幼児健康診査未受診者に対し、受診勧奨を強化し通知及び家庭訪問を実施。対象期間を過ぎて未受診だった者については、こども相談センターに情報提供を行い、虐待リスクについて精査を図った。必要に応じて、支援の必要性を検討している。 ・医療機関との連携については、支援家庭の連絡や市内産科医療機関と連携会議等を行うことで、連携強化が図られている。 ・その他、訪問看護ステーション、保育園等福祉部署、教育センター、精神保健担当との連携によるケース支援を実施。平成24年度より、連携強化を目指し、民生児童委員の定例会にて各地区担当が連携依頼を行っている。	・乳幼児健康診査未受診者に対し、受診勧奨を強化し通知及び家庭訪問を実施。対象期間を過ぎて未受診だった者については、要保護児童対策協議会事務局である、こども相談センターに情報提供を行い、虐待リスクについて精査を図った。必要に応じて、支援の必要性を検討している。また、乳幼児健康診査進捗管理の中で、受診対象期間内に転出した児について、転出先自治体に情報提供を行っている。 ・医療機関との連携については、支援家庭の連絡や市内産科医療機関と連携会議等を行うことで、連携強化が図られている。 ・その他、訪問看護ステーション、保育園等福祉部署、教育センター、精神保健担当との連携によるケース支援を実施。連携強化を目指し、民生児童委員の定例会にて各地区担当が連携依頼を行っている。	
	飯能市	■子育て支援課 ○個別支援 ・必要に応じて検討会議を開催 ○会議 ・地域子育て支援拠点事業実務者会議を5回開催した。 ・要保護児童対策地域協議会の開催 代表者会議(1回)、実務者会議(6回)、個別ケース検討会議(定期6回、その他は随時開催)	■子育て支援課 ○個別支援 ・必要に応じて検討会議を開催 ○会議 ・地域子育て支援拠点事業実務者会議(5回)を開催し、早期連携体制強化を行った。 ・要保護児童対策地域協議会の開催 代表者会議(1回)、実務者会議(6回)、個別ケース検討会議(定期6回、その他は随時開催)	
	狭山市	児童虐待防止のための連携体制強化 特定妊婦受処理処遇会議・・・年12回 要保護児童対策地域協議会実務者会議への参加・・・年12回	児童虐待防止のための連携体制強化 特定妊婦受処理処遇会議・・・年12回 要保護児童対策地域協議会実務者会議への参加・・・年12回	特定妊婦等、関係機関や他市との連携において、多少課題がある。
	入間市	・要保護児童地域対策協議会の参加 12回/年 ・妊娠期からの虐待予防強化事業での県内医療機関からの養育支援連絡票によるリスクのある家庭への支援 49件/年 ・要保護家庭の支援に対する関係者による事例検討会の実施 随時	・要保護児童地域対策協議会の参加(12回/年) ・妊娠期からの虐待予防強化事業での県内医療機関からの養育支援連絡票によるリスクのある家庭への支援(見込み55件/年) ・要保護家庭の支援に対する関係者による事例検討会の実施 随時	
	日高市	・関係機関との個別ケース会議の開催(17回)・日高市要保護児童対策地域会議の開催(6回)・虐待(疑いを含む)ケースについて担当課と連携した支援・小中学校、学童、保育園等市内関係機関への訪問を行い、情報共有を図った・民生委員への研修会の実施(1回)	・関係機関との個別ケース会議の開催(18回)・日高市要保護児童対策地域会議の開催(6回)・虐待(疑いを含む)ケースについて担当課と連携した支援を行った・小中学校、学童、保育園等市内関係機関への訪問を行い、情報共有を図った。民生委員への研修会の実施(2回)	

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
③児童虐待防止のための連携体制強化	狭山保健所	・ふれあい親子支援事業(事例検討会)の開催(6回開催、延べ109人)	・ふれあい親子支援事業(事例検討会)の開催(5回開催、延べ94人) 内容:母子に関するハイリスクなケースに対して事例検討アドバイザーとして、精神科医及び臨床心理士からの助言あり 対象者:管内市保健師、児童福祉担当者等 (令和2年2月27日開催予定)	
		・狭山保健所管内母子保健連携会議の開催(2回開催、延べ28人)	・狭山保健所管内母子保健連携会議の開催(1回開催、9人) 内容:母子保健分野で実施している虐待予防事業について情報交換 対象者:管内母子保健担当者等 (令和2年3月4日開催予定)	
④思春期対策の推進	所沢市	・学校保健との連携強化をめざし、養護教諭連絡会で保健医療計画「健康の保持・増進」の分野について、周知した。 ・教育委員会と調整しながら、成長発達や生活の変化が大きい小学校6年生と中学校3年生向けに保健体育等の授業で活用できる教材を作成、配布した。 ・思春期こころの健康相談(予約制)を実施した。	・教育委員会と調整しながら、成長発達や生活の変化が大きい小学校6年生と中学校3年生向けに保健体育等の授業で活用できる教材を作成、配布した。 また、活用状況や配付時期など各学校の意向を確認し、次年度に向けて調整を図った。 ・思春期こころの健康相談(予約制)を実施した。	
	飯能市	■健康づくり支援課 ・育児体験学習として母子愛育会に委託し、市内中学生を対象に助産師からの講義「生命の大切さ」、沐浴指導、妊婦体験を実施。7校実施	■健康づくり支援課 ・育児体験学習として母子愛育会に委託し、市内中学生を対象に助産師からの講義「生命の大切さ」、沐浴指導、妊婦体験を実施。8校実施	
	狭山市	実施なし	学務課で一部実施(助産師による命の授業)	
	入間市	・入間市母子愛育会の委託事業で中学生育児体験事業 3校/442人/年	・入間市母子愛育会の委託事業で中学生育児体験事業 3校/358人/年	
	狭山保健所	・子どもの心の問題に関する研修会の開催(1回開催、43人)	・子どもの心の問題に関する研修会の開催(1回開催、31人) 内容:講義 クラスで「気になる子」の理解と支援 対象者:管内市小中学校職員、管内市保健師、児童福祉担当者等	・学校保健(養護教諭、スクールカウンセラー等)及び児童福祉(家庭児童相談員)とのネットワークの充実
⑤妊娠期からの小児歯科保健対策の推進	所沢市	・地区担当制をとり、地区診断からの地区保健活動計画を立てて、ケースと地区保健活動に取り組んでいる。	・妊娠届出時、専門職による面談において、妊娠期から口腔ケアの重要性について周知を図った。また、あらゆる母子保健事業を通じてむし歯予防について啓発を行った。	
	飯能市	■健康づくり支援課 ・母親学級で歯科保健指導、乳児健診、1歳6か月健診、3歳児健診に加え2歳児歯科健診で歯科診察、歯科保健指導等を実施している。	■健康づくり支援課 ・母親学級で歯科保健指導、乳児健診、1歳6か月健診、3歳児健診に加え3歳児歯科健診で歯科診察、歯科保健指導等を実施している。	
	狭山市	妊娠期からの小児歯科保健対策の推進 妊娠届出時(リーフレットによるPR)、マタニティスクールでの保健指導(7回、延べ68人)、乳幼児健康相談での個別相談(12回、延べ84人)、4か月児健診での歯磨き指導(16回、延べ927人)、1歳6か月児健診での歯科検診と歯磨き指導(16回、延べ971人)、3歳児健診での歯科検診と歯磨き指導(16回、延べ993人)、乳幼児健診の事後フォロー教室「びよんびよんルーム」(12回、延べ32組)	妊娠届出時(リーフレットによるPR)、マタニティスクールでの保健指導(7回、延べ60人)、乳幼児健康相談での個別相談(12回、延べ95人)、4か月児健診での歯磨き指導(16回、延べ821人)、1歳6か月児健診での歯科検診と歯磨き指導(16回、延べ984人)、3歳児健診での歯科検診と歯磨き指導(16回、延べ962人)、乳幼児健診の事後フォロー教室「びよんびよんルーム」(12回、延べ28組)	なし
	狭山市	むし歯予防デー 歯の衛生に関する正しい知識の普及啓発、歯科健診、相談、歯みがき指導、フッ化物塗布を実施。 (来場者:延べ751人)	むし歯予防デー 歯の衛生に関する正しい知識の普及啓発、歯科健診、相談、歯みがき指導、フッ化物塗布を実施。 (来場者:延べ799人)	
	入間市	・両親学級 6回/年 延べ148人 ・働くママのための両親学級 6回/年 延べ163件	・両親学級 12回/年	
	日高市	・妊婦歯科検診の実施(64人) ・パパママ教室で歯科衛生士の講義を実施した(6回)	・妊婦歯科検診の実施(58人、令和1年12月末時点) ・パパママ教室で歯科衛生士の講義を実施した(4回)	

第7次埼玉県地域保健医療計画 西部保健医療圏 圏域別取組 進捗状況(実績)調書(5)

圏域別取組	在宅医療の推進
目標	在宅療養を希望する患者が、住み慣れた地域で必要な医療を受けながら生活できるよう医療・介護連携の充実を図り、地域包括ケアシステムの構築を推進します。
主な取組	①在宅医療を支える多職種連携体制の構築 ②医療・介護に携わる職員の人材育成 ③在宅医療に関する県民への普及啓発
実施主体	市、保健所、地域包括支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所等

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
①在宅医療を支える多職種連携体制の構築	所沢市医師会	<ul style="list-style-type: none"> 医療介護連携会議の運営支援 多職種による連携体制の構築を目指し、地域包括支援センターを中心に開催(市内6ブロック×年2回=12回) 絆ネットと共催(多職種連携研修) 「制度改正と多職種連携」(所沢市における医療と介護の情報連携について)(7月25日参加者81名) 「地域でつなげよう緩和ケアの輪」(10月22日 参加者132名) 「病院から地域へ在宅療養を支えるために私たちができること」(11月28日 参加者100名) 「高齢者に多いスキントラブルと対応を知ろう～高齢者のスキンケアの決め手は多職種連携～」(2月28日 参加者123名) 在宅療養入退院時連携ワーキンググループの立上げと会議の開催 「入退院時の連携を標準化することを目的に多職種での解決策の検討を行う」(年3回) 	<ul style="list-style-type: none"> 医療介護連携会議の運営支援 多職種による連携体制の構築を目指し、地域包括支援センターを中心に開催(市内6ブロック×年2回=12回) 絆ネットと共催講演会(10月28日 参加者133名) 「所沢市における在宅医療・介護の現状と問題」 多職種交流会の開催(5月24日 医師・訪問看護師交流会 参加者 100名) 在宅療養入退院時連携ワーキンググループ会議の開催(2回) 	
	入間地区医師会	○医療・介護専門職など、様々な職種の連携推進を図るために、地域包括ごとに多職種連携会議を開催。(10回延べ430人)	○医療・介護専門職など、様々な職種の連携推進を図るために、多職種連携会議を開催。(5回延べ220人)	○医療介護専門職の連携を図るための多職種連携会議の参加者が固定化している。
	飯能地区医師会	多職種連携座談会(ワールドカフェ)等開催	多職種連携座談会(ワールドカフェ)等開催	
	狭山市医師会	○多職種連携会議を実施	○多職種参加による「在宅医療・介護連携会議」を年6回開催 ○奇数月に多職種への情報提供のために「拠点便り」を発行	
	所沢市	①、② 医療介護連携会議の開催による関係構築とテーマ別講演及びグループワーク。12回(市内6ブロック×2回)平均約70名参加。	医療介護連携会議の開催による関係構築とテーマ別講演及びグループワーク。12回(市内6ブロック×2回)	・参加していただける方とそうでない方がはっきりしてきたこと
	所沢市	在宅療養入退院時連携ワーキンググループの立ち上げと会議開催(3回)	在宅療養入退院時連携ワーキンググループ開催(2回)	・県の入退院時連携マニュアル(仮)との調整や近隣市町村(東京都を含む)との広域連携など
	飯能市	<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉課 ○多職種連携座談会 飯能・日高地区ワールドカフェ ・役員会 6回開催 ○ワールドカフェ(専門職研修)2回開催 ・テーマ 成年後見制度の活用について」「在宅医療における介護者支援について ○市民フォーラムの開催 ・テーマ 在宅ALS患者の介護(実践報告)等 	<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉課 ○多職種連携座談会 飯能・日高地区ワールドカフェ ・役員会 6回開催 ○ワールドカフェ(専門職研修)3回開催 ・テーマ 多職種を知ろう～仕事を繋げる関係性作り～ ○市民フォーラムの開催 ・テーマ 「在宅医療」知っていますか？家で最期まで療養したい人に等 	

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
①在宅医療を支える多職種連携体制の構築	狭山市	在宅医療関係者(医師会、薬剤師会、歯科医師会、訪問看護、地域包括支援センター、ケアマネジャー等)と在宅医療・介護連携会議を年6回実施し、多職種連携で障壁となっている事や入退院時に欲しい情報等について、意見交換を行った。	在宅医療関係者(医師会、薬剤師会、歯科医師会、訪問看護、地域包括支援センター、ケアマネジャー等)と在宅医療・介護連携会議を年6回実施し、在宅支援ベットの利用時の入退院の問題点や訪問リハビリについて、意見交換を行った。	
	入間市	医療・介護従事者の連携会議6回開催(参加者343人)	医療・介護従事者の連携会議12回開催(参加者400人)	
	日高市	・ワールドカフェの開催(テーマ「成年後見制度の活用を考えよう」) ・情報交換会の開催	・ワールドカフェの開催(テーマ「多職種を知ろう～仕事を繋げる関係作り～」) ・情報交換会の開催	
	狭山保健所	在宅医療を支える多職種による在宅医療検討会議を開催した。	在宅医療推進会議を開催し、各地域における在宅医療の推進等について協議を行った。医療・介護に関する意見交換会を2回開催し、様々な立場から見た在宅医療に係る情報を交換した。	在宅医療を行う医療機関等の増加
②医療・介護に携わる職員の人材育成	所沢市医師会	・相談支援「在宅医療・介護関係者の相談支援」(支援件数144件) ・絆ネットとこ講演会(参加者132名) ・病床機能転換支援事業説明会(参加者28名) ・ACP実務者研修会(参加者241名)	・在宅緩和ケア研修会(2月18日 参加者90名) ・相談支援 124件	
	入間地区医師会	○医療・介護関係者の研修として「診療報酬・介護報酬改定を踏まえた医療・介護の流れ」をテーマに開催。(1回 88名)	○在宅緩和ケア、ACPIに関する研修会。(3回延べ304人)	
	狭山市医師会	○埼玉県医師会主催の研修会等への参加	○狭山市在宅医療連携セミナーを開催・狭山市医師会多職種交流会を開催してグループワークと交流を実施・さやま地域ケアクリニックと協力して、在宅医療勉強会と2回の「医療と介護」つながる交流会を開催	
	所沢市	・ICT情報連携ツールの活用研修(個別4回・全体1回)・多職種合同研修(1回・100名参加)	・ICT情報連携ツールの活用に関する出前講座(2回)	・MSCの活用がうまく拡がっていない
	所沢市	・多職種研修 「制度改正と多職種連携」「所沢市における医療と介護の情報連携について」(参加者81名) 「地域でつなげよう緩和ケアの輪」(参加者132名) 「病院から地域へ在宅療養を支えるために私たちにできること」(参加者100名) 「高齢者に多いスキントラブルと対応を知ろう～高齢者のスキンケアの決め手は他職種連携～」(参加者119名) 「ACP研修」(参加者241名)	・多職種研修会(1回・100名)	・開催方法、回数、予算など
	所沢市	②、③ ・講演会「いい人生だったと思えるように」(415名うち市民96名)	・講演会「知って安心在宅医療と介護」(88名)	・開催方法、回数、予算など
②医療・介護に携わる職員の人材育成	狭山市	医師、介護事業者向けに、NUP(うつ・認知症・パーキンソン病)研修会を開催した。	医師、介護事業者向けに、NUP(うつ・認知症・パーキンソン病)研修会を3月に開催予定。	
	入間市	介護支援専門員協会等への委託研修会 4回実施(参加者343人)、医療従事者・介護事業者向け研修 1回実施(参加者88人)、自立支援型ケア会議の実施 12回実施(参加者429人)	介護支援専門員協会等への委託研修会 2回実施(参加者180人)、医療従事者・介護事業者向け研修 8回実施(参加者445人)、自立支援型ケア会議の実施 12回実施(参加者500人)	

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
③在宅医療に関する県民への普及啓発	所沢市医師会	「在宅医療機関一覧」、「介護老人福祉施設受け入れ一覧」、「人口透析医療機関一覧」、「理想のケアマネ像」の作成 ・機関誌の発行「絆ネットとこころ」(年2回) ・市民の集い「いい人生だったと思えるために…平穏死のすすめ」(12月6日 参加者567名) ・あんしん在宅療養ガイドの配布	「訪問看護ステーション一覧」作成 1,200部 ・機関誌の発行「絆ネットとこころ」(1回) ・市民向け講演会の開催(7月6日 参加者 88名) ・市民向け講演会(出前講座の開催 参加者20名)	
	入間地区医師会	○在宅医療に関する住民啓発として、市内のラジオ放送、リーフレットの市民会館等へ設置、市報の掲載。(市内ラジオ放送1回) 地域包括支援センターと共に老人会、サロン等で啓発(5回 延べ83人)	○在宅医療に関する住民啓発として、在宅医療の相談窓口周知のためリーフレットを市民会館等へ設置。在宅医療と人生会議に関する出前講座を実施。(6回延べ111人)	
	飯能地区医師会	各種会合で話している。	各種会合で話している。	
	狭山市医師会	○在宅医療支援センターコーディネーターによる市民への啓発講座を実施	○地域福祉講座、コミュニティサロン協議会定例会、自治会、ボランティア連絡会、サロン、日常生活圏域会議等「在宅医療と人生会議」の高遠を買い実施、延べ390名参加。参加者に拠点のリーフレットと「私の老後の生き方暮らし方ノート」を配布	
	所沢市	・地域の健康祭り等イベント、市の高齢者向けイベントでの「あんしん在宅療養支援ガイド」やパンフレット配布等による普及啓発に努めた。	・地域の健康祭り等イベント、市の高齢者向けイベントでの「あんしん在宅療養支援ガイド」やパンフレット配布、出前講座(計115名)等による普及啓発に努めた。	・インターネットを活用した普及啓発を実施したが、紙による普及啓発の方が需要が高い。
	入間市	市民等への普及啓発活動 5回実施(参加者84人)サロン等でのリーフレット・健康配布の配布、公民館へのリーフレットの設置、ラジオでの啓発活動)	市民等への普及啓発活動 6回実施(参加者125人)サロン等での出前講座(リーフレット・健康配布の配布、もじはなゲーム、人生会議)、公民館へのリーフレットの設置、ラジオでの啓発活動)	
	日高市	・ワールドカフェの開催(テーマ「成年後見制度の活用を考えよう」) ・情報交換会の開催 ・市民フォーラムの開催(テーマ「在宅医療知っていますか？家で最期まで療養したい人に」) ・飯能市新緑ツアーデーマーチへの参加し普及啓発につとめた	・ワールドカフェの開催(テーマ「多職種を知ろう～仕事を繋げる関係作り～」) ・情報交換会の開催 ・市民フォーラムの開催(テーマ「在宅医療知っていますか？家で最期まで療養したい人に」) ・飯能市新緑ツアーデーマーチへの参加し普及啓発につとめた	
	狭山保健所	認知症介護情報連携シートの配付及びホームページでの周知を行った。	認知症介護情報連携シートの配付及びホームページでの周知を行った。	効果的な住民への周知方法の確立

第7次埼玉県地域保健医療計画 西部保健医療圏 圏域別取組 進捗状況(実績)調書(6)

圏域別取組	地域医療構想の推進
目標	疾病の発症により必要に応じて高度急性期、急性期、回復期、慢性期、在宅医療等まで適切な医療が受けられるよう医療提供体制の整備を進めます。
主な取組	①西部区域における医療提供体制の整備の推進 ②医療機能の分化・連携の推進に関する情報収集、提供
実施主体	保健所、医師会、医療機関、市、関係団体 等

主な取組	実施主体	平成30年度の実績	令和元年度(予定含む)	
			取組内容・実績	推進にあたっての課題・問題点(ある場合)
①西部区域における医療提供体制の整備の推進	所沢市	・所沢市市民医療センターでは、地域住民が必要とする入院機能(リハビリテーション、在宅復帰支援)を提供するため、急性期一般病床49床のうち11床を地域包括ケア病床に機能転換し、平成30年11月より運用を開始した。	・前年度導入した地域包括ケア病床は、安定して稼働している。また、より充実した医療サービスを提供するため、平成31年4月に新たに理学療法士(臨時的任用職員)1名を採用した。	
	狭山保健所	西部地域保健医療・地域医療構想協議会及び作業部会を計3回開催し、医療提供体制の整備を推進した。	西部地域保健医療・地域医療構想協議会及び作業部会を計3回開催するとともに、医療・介護に関する意見交換会を2回開催し、医療提供体制の整備を推進した。	
②医療機能の分化・連携の推進に関する情報収集、提供	狭山保健所	西部地域保健医療・地域医療構想協議会及び作業部会を計3回開催し、医療機能の分化・連携の情報収集、提供をした。	西部地域保健医療・地域医療構想協議会及び作業部会を計3回開催するとともに、医療・介護に関する意見交換会を2回開催し、医療機能の分化・連携の情報収集、提供をした。	